

丹波篠山

No. **105**
2023.4

市議会だより



表紙リニューアル！

今月号から丹波篠山市立篠山養護学校の幼児・児童・生徒の作品を表紙として掲載します！特別な支援を必要とする子どもたちの芸術性や表現活動の支援と、市議会だよりのイメージチェンジを図っていきます！

作品介绍

「Joyful Flower (ジョイフル フラワー)」

コロナの影響で様々な活動が制限される中、児童生徒会スローガン「Joyful ～みんなで夢と希望 未来に向かって奇跡をおこそう～」をテーマに、全校生で1つの作品を作りました。

みんなで協力して「作ってたのしい！ 見てうれしい！」気持ちになるような大輪の花を色鮮やかに完成させることができました。（担当教諭談）

原案
可決

令和5年度 一般会計当初予算

230億3,900万円

令和5年度一般会計予算を含む6議案が上程されました。審査は予算決算委員会に付託され、総務文教・民生福祉・産業建設分科会で審議しました。一般会計は骨格予算とし、特別会計と公営企業会計を合わせた当初予算は423億9,353万円で、原案どおり可決しました。

QRコード



■今田こども園整備事業

〔4億9,301万円〕

今田幼稚園・今田保育園を統合し、新たな認定こども園を建設・整備する。
問 今田こども園は、たきこども園と同じような施設が整備されるのか。
答 一部鉄筋コンクリート造の木造平屋建てで、床や腰壁に木材をふんだんに取り入れており、構造や内装はたきこども園に近い部分がある。

(仮称)今田こども園 完成イメージ図



外観には立杭焼を玄関ホールのタイルなどに活用することも検討している

■ふるさと丹波篠山に住もう帰ろう運動推進事業

〔8,735万円〕

住宅新築・改修助成費、定住促進員の報償費、高等学校通学支援費などの、定住・移住促進事業。

問 旧篠山町地域が過疎地域指定となり、定住促進重点地域を拡大して人口増加の取り組みを進めるべきではないか。特に、丹波篠山市民センター北側のエリアは土地利用、農業振興地域の除外を考えてはどうか。
答 旧篠山町地域でも、東部地区の人口減少が顕著である。旧篠山町を中心に対応策や施策を行う必要がある。土地利用については、まちづくり部

で都市計画マスタープランの見直しを行っており、令和5年度には基礎調査等に基づいて議論していく。

■公共交通対策事業〔9,447万円〕

市内5地区で実施している有償運送事業への委託料、コミュニティバス等への運行補助金など、市内公共交通サービスの確保や公共交通会議委員謝金。

問 公共交通計画策定について、その内容と高校へのバスルート変更について説明を求めろ。
答 公共交通については、令和5年度一番の重点課題と考えている。利用実態と今後のニーズを的確に把握して、利用の少ないコミュニティバスなどを抜本的に見直したい。高校へのバスは、ルート変更や篠山東中学校から鳳鳴高校や産業高校に行く便を増便する形で対応している。

■地域医療対策事業

〔2億3,146万円〕

地域医療関係者会議開催に伴う謝金や、救急医療体制確保のため、協定や条例に基づき補助金を交付する。

問 地域医療関係者会議の今後の予定と方向性は。
答 兵庫医大は市民病院化を希望されているが、市としては困難だと考えて

いる。今後は県とも相談して、兵庫医大と個別で協議する。方向が定まれば地域医療関係者会議の中で報告する。

■妊娠・出産包括支援事業

〔8,492万円〕

産前産後の切れ目のない相談支援や、産後ママをサポートするための宿泊・日帰り型ケア事業など、健やかな子育てにつなげる支援事業。

問 市内産婦人科に対する補助継続の考え方は。
答 ささやま医療センターでの分娩が休止になってから、タマル産婦人科での出産率は10%程度増え、市内全体の約40%を占めている。全体的な市の医療構想とタマル産婦人科の意向も聞きながら検討していきたい。

■地域再生協働員設置事業

〔369万円〕

小規模集落等の課題解決や地域発展を図るため、「獣がい対策推進員」を雇用して、獣害対策の解決に取り組む。

問 県費を活用し、獣がい対策推進員を6月末までの任期として雇用しているが、任期終了後はどう対応するのか。
答 7月以降は一般財源により、引き続き活動していただく。人材確保は重要であるため、新たな財源は今後探していく。

■環境創造型農業推進事業

【3,101万円】

農業使用回数や化学肥料の施肥量の低減など、環境負荷の少ない農業に取り組む農業者支援事業。

問 オーガニックビレッジ宣言に向けて、どのような方向性で取り組むのか。

答 本市の特産である米と黒大豆の輪作体系により、農業者が継続して有機農業に取り組めることを目標に掲げて、有機農業が確立できるよう検討している。

■観光宣伝事業

【1,769万円】

丹波篠山ファンを増やすため、本市の広報宣伝を積極的に行う。また、関東圏に向けたPRとして「丹波篠山黒豆ナイター」を実施する。

問 千葉ロッテマリーンズの「冠試合」を開催する意図は。

答 中森選手が入団したことを機に、関東圏での丹波篠山市の観光PRを目的としている。



「冠試合」黒豆ナイター
千葉ロッテマリーンズ 提供

令和5年度
特別会計当初予算

原案
可決

108億6,371万円

■国民健康保険特別会計

【49億5,282万円】

問 国民健康保険制度の広域化について今後の課題は何か。

答 令和9年度に兵庫県下で保険料率を統一するには、保険給付も統一する必要があります。

保険料(税)は各市で減免基準や、各市独自の給付等についても統一されていないため、それらをどのように統一していくかが課題。

■後期高齢者医療特別会計

【7億1,652万円】

問 団塊世代が国保から移行するため予算が増額されると思われるが、今後の見通しは立っているのか。

答 令和5年度から5年間は毎年250人から280人の被保険者の増加が見込まれる。保険料は令和6年度から改正する予定だが、金額は兵庫県後期高齢者医療広域連合によって算定されているので、市単独では予測できない。

■介護保険特別会計

【49億5,639万円】

問 第9期介護保険事業計画策定事業に関して委託業務と計画の内容は。

答 委託内容は、65歳以上の人口推計と認定率から給付費の目標量を設定する業務である。

計画については、令和4年度に実施したニーズ調査と在宅介護実態調査から、介護人材の不足についても盛り込みたい。



原案
可決

令和5年度
公営企業会計当初予算

84億9,082万円

■水道事業会計

【32億878万円】

問 県水の供給範囲を増やす予定はあるのか。

答 無い。今の区域が最適と考えている。

■下水道事業会計

【52億8,203万円】

問 移転工事補償金1,332万円が収入に計上されているが、その内容は。

答 コミュニティ・プラント事業として兵庫県が行う「波賀野川改修工事」に伴い、汚水管の移設工事が発生する。その移転補償金を計上している。

2月28日会議補正予算 4億4,783万円

減額

歳入はふるさと納税寄付金見込みによる減額です。歳出は決算見込みによる事業精査を行いました。それに加え、国の補正予算による追加や指定管理施設へ燃油等の高騰に対する支援について予算を計上し、総額4億4,783万円を減額しました。

予算決算委員会で予算審査を行い、原案どおり可決しました。

一般会計

■丹波篠山ふるさと応援寄付金事業

【△9,739万円】

ふるさと納税寄附額減に伴う返礼品他必要経費の減額。

問 目標4億円に対し、2億5千万円の寄付金収入だが、掲げた目標を達成できなかった理由は。

答 目標寄付額4億円とし、事業者、品数も約2倍に増加させるなど取り組みを強化した。また、ガバメントクラウドファンディングなど、新たな取り組みも実施し、前年度比で金額、件数とも約1.5倍となったが目標金額に

は達しなかった。

問 企業版ふるさと納税は、どの程度の効果があったのか。

答 4件で、260万円の納税実績。今後も寄付額の増額に向けて取り組んでいきたい。



■戸籍住民基本台帳費

【△91万円】

会計年度任用職員の人件費等確定に伴う職員手当や旅費などの減額。

問 マイナンバーカードの交付率は何%になっているのか。また、国の補助での雇用は何人か。

答 マイナンバーカードは、2月19日時点で、申請率が79.93%、交付率が68.65%である。交付事務に係る職員は10人の会計年度任用職員である。

■地域医療対策事業費

【△440万円】

委託業務の進捗遅延による契約内容の変更に伴う減額。

問 委託料の減額の要因は何か。

答 令和4年7月の地域医療関係者会議の後に、個別に兵庫医科大や紀洋会に対し話をする計画としていたが、地域医療関係者会議の方向性がまともらず、両病院に対する個別支援の業務が出来なかったため。

■プレミアム付商品券事業

【△4,187万円】

プレミアム付商品券の事業費確定に伴う不用額の減額。

問 他の自治体では制度変更等、柔軟に対応されているが、本市では追加販売や仕組みの変更について検討しなかったのか。

答 今回のプレミアム商品券の発行については、早い者勝ちにならないように全市民分を用意した。残った分を買っていただくことになると、またそこで早い者勝ちの問題が生じることから、当初の予定通りで実施した。

国民健康保険特別会計

■直営診療所勘定

【△1,985万円】

主にPCR検査関連の実績見込みによる減額。

問 各診療所の減額要因は何か。

答 PCR検査は東雲、草山、今田は

月10回、後川は月4回の12カ月間と計算していたが、実績は東雲32回、草山27回、今田33回、後川0回となった。PCR検査の委託料も1回あたり1万3,500円から6,000円に減額されたこと。また、薬剤費も今後の見込み等を勘案し減額している。

介護保険特別会計

■居宅介護サービス給付費

【2,609万円】

訪問介護利用者の増加に伴う増額。

問 負担が増えた要因は何か。

答 コロナの影響で、訪問系のサービスが前年度比約105%、通所系のサービスが102%で推移しており、主な理由は訪問介護など訪問系のサービスが増えているため増加している。

公営企業会計

問 電力料金高騰分を一般会計から繰り入れることだが、一般会計からの繰り出しに関する考え方は。

答 上下水道とも国が定める基準内の繰り入れを行っている。今回、コロナ交付金を高騰分に対し活用することを認める通知があったことから、基準外の繰入金として、上・下水道会計に繰り入れることになった。

3月議会(弥生会議)で可決した

主な条例改正



■押印を求める手続きの見直しに伴う関係条例の整備に関する条例

行政手続きにおける市民等の負担軽減と利便性の向上を目的とし、これ迄申請や届出等において必要としていた押印を廃止するため、関係する条例について、所要の改正をするもの。

問 改正により引き続き押印を求める書類は何件になるのか。

答 主なものは請求書で約300件になる。

■丹波篠山市消防団員の定員の管理、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例

消防団員を確保し、地域防災力の充実に図るため、消防団員の報酬を引き上げるための改正。

問 国の出勤報酬は一日8千円と示されているが、当市も同様か。

答 一時間につき千円であり、一時間半であれば繰り上げて2千円、8時間を超えればその分も支払う。

問 短時間の出勤や誤報の際の出勤報酬はどうなるのか。

答 出勤報酬の対象とし、分団長の報告書に基づき支払う。

問 班長・団員の年額報酬を引き上げ、部長以上については据え置きだが、考え方は。

答 市の財政負担を考えると、国が示す基準まで上げるのは困難だ。



寒風の中、出初式で一斉放水

■丹波篠山市地域コミュニティ活性化施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

福住及び大芋の地域コミュニティ活性化施設にかかる利用料金の改正。

問 福住地域コミュニティ活性化施設

のこれまでの状況と経営はどこが担っているのか。

答 昨年度までは週3日の運営だったが、現在は別の方が、週3日と不定期ではあるが土・日の営業をされている。

問 福住地域コミュニティ活性化施設の利用料金月額3万円の妥当性および指定管理者との協議について。

答 指定管理者との調整も出来ており了解を得ている。

問 大芋地域コミュニティ活性化施設のこれまでの宿泊の利用状況は。

答 令和2年度は960人、同3年度は1,533人、同4年度の4月〜12月までは2,174人に増えている。



旧小学校舎を活用した「泊まれる学校おくも村」

問 大芋地域コミュニティ活性化施設の値上げで料金が倍になる部分があるが影響は。

答 宿泊料の上限にはある程度の余裕をもたせている。値上げは指定管理者と協議しながら段階的に行う。

■丹波篠山市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

国の「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令」に準じ、放課後児童健全育成事業者による安全計画の策定、バス等送迎に当たっての安全管理、業務継続計画の策定及び衛生管理等の職員研修等について改正するもの。

問 改正により安全計画の策定やバス送迎の安全管理等を加えるとのことだが、具体的には何を行うのか。

答 安全計画は来年度中に策定するが、各放課後児童クラブは、それぞれの施設ごとに10月を目途に策定したい。

この他にも、丹波篠山市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例を含む、11の条例について一部改正を行った。

出張版 議員と語る会を開催

多様な団体と意見交換会を実施

令和4年11月に、市政全般にわたって、多種多様な市民の意見を聴き、自由に意見を交換する「議員と語る会」を開催しました。

「出張版」議員と語る会
参加団体募集中
～あなたの意見をお聴かせください～

「農業を次世代に引き継ぐために、うちはこんな取組を頑張っています！」
「人口・若者減ってるけど、こんな取組があったら地域が活性化すると思う！」
「子育てって大変！これからの子育て政策はどうなるの?!」
「こんな制度があったらもっと通学しやすく、なるんちゃう?!」
「私たちが取り組んでいることについて、もっと知って欲しい!!」
「こんなものがあれば、観光客が増えるんちゃう?!」

地域の枠を超えて、企業・市民サークル・仲良しグループ・保護者会など、市内の各種団体と丹波篠山市議会各常任委員会との議会報告・意見交換会を行います！
今後の議会活動に活用させていただくため、皆様の思いや、お声をお聴かせください！

委員会報告の見方

- ① 参加団体名称
- ② 意見交換テーマ
- ③ 参加団体の意見
- ④ ③に対する常任委員会の対応

地元企業や市民サークル、子育てグループなどの各種団体（5人以上～10人位）を対象として、参加者を募集したところ、9つの団体から応募がありました。各種団体から出された希望テーマに基づき、常任委員会を決定して派遣。意見交換の中では、各団体の活動内容や、市施策への改善提案など、様々な話を聞かせていただきました。皆様から頂戴した貴重な意見は、市にも情報共有を行うとともに、委員会として今後の議会活動に活かしていきます。

また、「議員と語る会」は、令和5年度も、期間を問わず通年の事業として実施する予定です。詳細は今後の市議会だより等でご確認ください。

総務文教常任委員会

子育て支援は

本市の最重要課題

- ① おとわの森子育てママフィールド プレティプリ
- ② 市内の子育て、教育及び待機児童について
- ③ 仕事の復帰が決まっているのに、子どもを保育園に預けられるか分からないのは不安だ。
保育士の募集方法について工夫し、労働環境の改善が必要。
- ④ 子育てに対する支援は本市の最重要課題と認識している。



「里山暮らしツアー」の効果を確認(ウイズささやま)

- ① 多紀郷友会
 - ② ふるさと丹波篠山の未来を拓く
 - ③ 城下商店街や地域医療について。
 - ④ 頂いた貴重な意見は今後の議会活動に活用する。
- ① ウイズささやま
 - ② 関係人口について 里山暮らしツアーの紹介
 - ③ 里山暮らしツアーの取り組み、関係人口・移住政策について。
 - ④ 里山暮らしツアーの効果は良く分かったため、継続できるように申し入れる。
- ① 篠山地区自治会長会
 - ② 過疎対策について・適正な議員定数の考え方について
 - ③ 過疎対策、担い手不足などの課題解決方法や議員定数について。
 - ④ 定数削減だけが改革ではない。担い手不足は関係人口の増強で対応したい。

● 民生福祉常任委員会

マスクを外して
笑顔で給食を

- ① 丹波篠山の子どもの食と健康を考える会
- ② 子育て世帯への支援状況報告と今後の活動について。
- ③ 本当に困っている人に届けるために「子ども宅食」事業を実施したい。活動の拠点となる場所(事務所)がほしい。
- ④ 宅食事業への展開や活動の拠点になる場所の確保について、議会内で情報共有を行った。

本来なら、国・県・市が実施する仕事であると考えている。行政とともに支援活動を行っていきたい。

他団体や市社会福祉協議会も同様の事業を実施している。更なる支援が必要な場合は、共に市と協議をしてはどうか。

① 感染対策を見直す会(丹波篠山市 笑顔あふれる市民の会)

- ② 疲弊するさまざまな現場があるため感染対策を見直したい
- ③ 効果が不確かな感染対策から市民が解放されて、まちが笑顔を取り戻すことを目指したい。



本当に困っている方々に「子ども宅食」(丹波篠山の子どもの食と健康を考える会)

ワクチンのリスクについても発信してほしい。

学校現場のマスクフリー、黙食回避。

- ④ ワクチンの接種は市の方針で、健康課を中心に市医師会等の協力を得ながら進めている。
- 学校現場のマスク着用について、マスクを外して笑顔で給食等が実施できる環境を議会としても望んでおり、教育委員会では、国の方針を踏まえながら今後について検証を進めている。

● 産業建設常任委員会

農業の担い手不足課題は
継続検討が必要

- ① 丹波篠山市建設業組合
- ② 人と自然が共生し、豊かなまちづくりのために
- ③ 水路改修に関して、市は環境型配慮の施工を強く求めているが、現実的な農業施設維持活動の障害になっている。
- ④ 水路の施工について、環境配慮型の施工を一方的に奨められているような誤解が生じないように、市に申し入れた。

① 下板井自治会

- ② ワクワク農村の推進に向け、地元からの改善や提案
- ③ 宮田川沿いの桜の木の枝が市道まで伸びているが、高所のため地域での剪定は困難。
- ④ 桜の枝は、担当課で対応したと報告を受けた。市の木である桜の木の管理については、防災面や観光資源としても全市的な課題と捉え、継続調査を行う。

タンクは今後も使用予定であると確認した。



ワクワク農村の推進に向けての提案(下板井自治会)

① 今福自治会

- ② 高齢化社会に伴うこれからの農業についての方向性とありかた
 - ③ 農家の減少や後継者問題などの担い手不足問題について、どのように解決していくのか。
 - ④ 紙より、インターネットを活用した情報発信をする方が効果的ではないか。
 - ④ 担い手不足問題は、すぐに解決できるような問題ではなく、特定の手段で解決できるものでもない。議会としても引き続き検討する。
- インターネットでの情報発信に力を入れるよう市に対して申し入れを行う。

住みよいまちづくりを目指して

当委員会は、次の3点の所管事務調査を行いました。今回の委員会視察や調査を、本市の移住定住施策や子育て施策に反映していきます。

■シリ丹バレー構想を研修

空き家や廃校等をワークスペースに改修し、起業家を呼び込む構想です。事業の柱は、次の4つです。

- ・産学官民のネットワーク形成の推進。
- ・ICTを活用し地域産業の生産性向上。
- ・新しい交流、情報交換、知識共有の場と機会。
- ・新たなビジネス空間、場の創出。

今後も地域イノベーションの契機となることを期待し、注視していきます。

■県外先進地を視察

鳥取県智頭町の移住定住施策では、空き家バンク、住宅改修、新築支援や家賃助成に加え、U、J、イターン住宅支援事業補助金制度も行われています。

智頭町の1歳まで家庭で子育てを推進する「わが家で子育て応援給付金」は、待機児童対策に効果があるようです。

岡山県総社市では「移住・定住施策



総社市で移住定住施策を学ぶ

■議員と語る会で意見交換

4団体と次のテーマで意見交換をしました。

- ①おとわの森子育てママフィードバック
- ②「ウイズささやま」とは、「里山くらしツアー」の取組みにおける関係人口。
- ③多紀郷友会とは、城下商店街や地域医療等。
- ④篠山地区自治会長会とは、過疎対策、担い手不足などの課題と議員定数。

市民の健康と自然環境を守るために

自治会運営に関して研修・調査。令和4年10月に県外視察研修を行いました。

■地域への伴走型支援

令和4年10月に丹波の森研究所の上 甫木昭春(かみほぎ あきはる)氏を講師に「集落の地域活動の現状と活性化に向けて」をテーマに、集落内で将来像を話し合う重要性、自治会のルール見える化、校区単位で空き家を管理する仕組み作りなどを学びました。

また、令和5年1月には「小規模集落調査の結果」及び「自治会運営の手引き」について調査を行い、地域に対する伴走型支援や、集落の課題を話し合う場をつくるためのコーディネーターの育成が必要であると感じました。今後も地域へ支援できることは何か調査研究を続けていきます。

■健康増進はUDeesポーツで

熊本県合志市にて、産学官連携による健康都市作りを進めています。コロナ禍でもバーチャルウォーキング大会やオンラインを活用した講座で、運動習慣の定着や自身の健康に気

づく取り組みや、UDeesポーツ(ユニバーサルデザインスポーツ)など新しい技術を使った誰でもできる健康増進の取り組みを学びました。

■ゼロ・ウェイストのまちづくり水俣宣言

熊本県水俣市では、「ゼロ・ウェイスト宣言」をされています。行政と市民の地道な取り組みで、市民の環境への高い意識やゴミを23種類に分ける高度分別が定着していました。本市においても市民の環境への意識の向上やゴミの減量化のための取組や啓発を続けていきます。

■議員と語る会意見交換

- ①丹波篠山の子どもの食と健康を考える会から、市内での子ども食堂の取り組みの想いや課題、今後について。
- ②丹波篠山市笑顔あふれる市民の会から、新型コロナウイルス感染症対策について、ワクチン接種、教育や介護現場のこと、マスク着用による子どもへの影響について。

有機農業事例等を調査

市は、国が進める「オーガニックビレッジ」創出に参加を表明しました。

このことを受け、委員会は有機農業によるまちづくり事例を視察しました。

また、議会報告会や議員と語る会で出された地域や市政の課題を調査しました。

■臼杵市の有機農業事例

令和4年11月1、2日、大分県臼杵市を訪問し、同市の有機農業施策の展開について調査しました。

平成22年に竣工した臼杵市土づくりセンターで「草木類」と「豚ふん」を原料とする完熟たい肥「うすき夢堆肥」を製造販売しています。

市内農家にはその堆肥を潤沢に使って土づくりをしてもらい、市民には率先して地元で育った農産物を食べてもらうことで、地産地消型の有機農業に取り組みされていました。

同市では、有機農業推進室で総合的な有機農業施策を企画推進されるとともに、独自の有機農産物認証制度を設け運用されています。

最近では、有機農業の環境が整った



市内の桜並木を調査

臼杵市で新規就農や起業したいとの動きや有機栽培野菜使用の学校給食に魅力を感じて移住される方があるなど、有機農業の推進がまちの活力創造につながっていることも確認しました。

■地域・市政の課題を調査

昨年5月に実施した議会報告会で多くの意見が出された「農業の担い手不足」と11月実施の議員と語る会で指摘のあった「多面的機能支払交付金活用による水路整備」「獣害対策」「河川堤防の桜並木管理」等の課題について、市の各担当から施策の運用状況を確認し、見つかった改善点を提案しました。

■桜回廊の管理活用は継続調査

河川堤防の桜並木は、ふるさと桜づつみ回廊として整備されたものの、桜は高木のため管理が困難で、てんぐ巢病の課題も大きくなっており、今後も継続的に調査を進めます。

読みたくなる広報誌を目指して

「丹波篠山市議会だより」第99号から臨時号を含めた第103号まで、予定通り発行できました。

発行に当たっては、「親しみやすさ」をキーワードに掲げ毎号の編集にあたっていきます。最近では、補正予算の歳入歳出金額が分かり易いように円グラフを挿入したり、各事業について説明文をつけたり、改善を積み重ねています。

■専門家を招き研修

令和4年11月25日には、タウン誌「くるり丹波篠山」の編集を手掛けた松田記子さん(株式会社ウエストプラン代表取締役)を招き、「言葉で『伝える』ということ」読みたくなる広報誌とは」というテーマで、実践的な研修を行いました。

「読者は主に市民です。いつ、どこで、どんな会議をしましたという報告ではなく、その会議でどんな意見が出たのか、どういった議論が行われたのか、その結果、どうなったのかを知りたいのではないか」と話されました。また、①表紙についてテーマを定め、それに沿った写真やイラストを掲載す

る②表紙に愛称をつけて、愛着をもってもらえるようにする③議会で取り組もうとしていること、力を入れていこうとしていることに対して特集記事を組み、広報に特色を持たせる④読んだら「得した!」と思えるような記事や、息抜きができるようなホッとさせる記事を掲載するなど、多くのアイデアをいただきました。

広報誌の役割は、読者に「読んでもらい」「関心を持ってもらい」「活用してもらい」ためのものであり、そのためには「誰に伝えたいのか」を明確にする必要があります。「親しみやすさ」を更に追及し、「誰に何のために伝えるのか」を意識して、研修で学んだ知識や技術、アドバイスを取り入れながら、取り組んでいきます。



講師の松田記子さんのアドバイスに耳を傾ける

先進事例を参考に

1月26日から27日まで、これからの議会改革の参考とするため、東広島市議会と三次市議会を訪ねました。

テーマは「議員報酬減額条例制定について」、「モニターを活用した一般質問について」及び「高校生を対象とした意見交換会について」です。

議員報酬減額条例制定に向けて

地方自治法二百三条には、報酬を支払う義務が規定されています。議員報酬を減額できる規定が独自になければ、長期欠席議員に対して、条例で定める額を全額支払うしかありません。

東広島市議会では、平成29年に事案が発生したことから、議員報酬減額条例を令和2年6月に制定しました。

本市議会では、現在長期欠席している議員はいませんが、条例の制定に向けて検討を進めていきます。

モニターを活用した一般質問

東広島市では、出席者と傍聴者に、内容をより理解していただくことを目的に、議場内に2台の90型モニターを設置しています。

課題としては、写真や書類で肖像権

の侵害や著作権法に抵触する可能性があるということでした。

わかりやすさという面では、非常に効果的ですが、費用の面も考えながら検討を進めます。



近代的な議場を飾る大型モニター

高校生との意見交換会

選挙権年齢も引き下げられたことから、高校生を対象にした意見交換会を実施している三次市議会を訪ねました。市内にある三つの県立高校や生徒からは肯定的に受け止められており、議員も意欲的だとのことでした。

本市議会も、議会報告会で「女性や若者の参加が少なく、意見や提案が幅広く聴取できない」という課題もあります。

今後は、高校等と調整をしながら実施に向けて取り組んでまいります。

在りし日の河南克典議員を偲ぶ

防災体制の整備に手腕

去る令和5年1月12日に河南克典議員が逝去されました。(享年73歳)

河南議員は、平成12年の初当選以来、6期22年の長きにわたり丹波篠山市議会議員として市政の推進に邁進されました。

平成22年からの2年間は、市議会議長を務め、市民の負託に応える議会運営を推進。土曜議会、議会報告会、議会基本条例の策定など、「市民に開かれた信頼される議会づくり」に奮闘されました。

昭和53年から平成19年まで、29年の長きにわたり防災士や地元の消防団員としても活躍。その経験を生か



河南克典議員の主な経歴

平成12年	～	篠山市議会議員
平成16年5月	～平成18年4月	文教厚生常任委員長
平成18年5月	～平成20年4月	民生福祉常任委員長
平成20年5月	～平成22年4月	議会運営委員長
平成22年4月	～平成24年4月	市議会議長
平成28年5月	～平成30年4月	篠山市監査委員
令和 2年5月	～令和 5年1月	丹波篠山市監査委員

して危機管理や防災体制の整備等に多大な手腕を発揮されました。折しも、東日本大震災が発生したことから、遠方にある自治体との助け合いが重要であることを感じられ、愛媛県愛南町・千葉県館山市・岐阜県高山市などに、自ら足を運び、防災協定の締結に奔走されました。故人の功績に敬意を表し、謹んでご冥福をお祈りいたします。

～賛否の分かれた議案等の公開～

議案等	議席番号 議員名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
		森本 富夫	齋藤 恭博	栗山 泰三	足立 義則	堀毛 宏章	渡辺 拓道	安井 博幸	向井 千尋	上田 英樹	山田 潔	前田 えり子	原田 豊彦	萩原 正人	荒木 礼子	大西 基雄	隅田 雅春	園田 依子	小島 政行
議案 第26号	令和5年度丹波篠山市一般会 計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○
議案 第27号	令和5年度丹波篠山市国民健 康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○
議案 第28号	令和5年度丹波篠山市後期高 齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○
議案 第29号	令和5年度丹波篠山市介護保 険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○
議案 第30号	令和5年度丹波篠山市水道事 業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第31号	令和5年度丹波篠山市下水道 事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※○は賛成、×は反対。 ※小島議員は議長のため、採決には加わっていない。

QRコード



【反対討論】

議案第26号～29号 市民のいのちと暮らしを最優先に考えた市政執行を

・コロナ禍の中、物価高騰などで市民の暮らしや中小事業者の経営が苦しいまま、コロナ対策支援も次々に終了しており、生活困窮世帯への家計支援策が切実に求められている。市民から令和5年度予算には、市民の暮らし・福祉・教育最優先こそ求められているが、市民の願いに応えるものにはなっていない。誰もが住み慣れたところで安心して暮らせるように、国に対しても要望、提言し、命と暮らし最優先に市政が執行されることを願う。

【賛成討論】

議案第26号～31号 厳しい財政に配慮した堅実予算

・令和5年度丹波篠山市の予算案は、2月に市長選挙があった為、骨格予算となっている。とは言え、おためし丹波篠山暮らし、高齢者等の買い物支援、今田こども園の新築整備そして環境創造型農業の推進などの事業は、市民の福利厚生の上に寄与するものである。人々の安心を確保しながら、高齢化や若者の減少に対応し、さらなる市政発展のために取り組んだ予算と言える。我が市の厳しい財政状況の中で、最大の効果を発揮するように編成されていると予算審査において理解できたので、原案に賛成する。

広告

自宅葬から会館葬まで…
セレモニーホール
ネムールの木 MORI
ドライアイス・優待車は24時間365日対応させていただきます。
24時間受付 0120-39-1005
ネムールの森篠山葬祭会館 丹波篠山市東吹1258-2

広告

「新しい未来を創造、提案する」
土木・建築総合施工会社 総合建設
西村建設鋼業株式会社
社 全国鉄構工業連合会会員・国土交通大臣認定工場(R)
〒669-2501 兵庫県丹波篠山市奥原山327 TEL.079-557-1316
【E-mail】 s-nishi1@iris.eonet.ne.jp FAX.079-557-1317

次回の会議は5・6月に開催します。

【通称：水無月会議】

5月30日(火) 本会議(第1日)

議案提案 他

6月21日(水) 本会議(第2日)

一般質問 他

6月22日(木) 本会議(第3日)

一般質問 他

6月29日(木) 本会議(第4日)

委員長報告 他

(常任委員会・分科会)

○予算決算委員会分科会

補正予算審査

5月31日(水) 民生福祉

6月 1日(木) 総務文教

6月 2日(金) 産業建設

6月20日(火) 全体会

◎いずれも午前9時30分開会予定。どうぞ傍聴にお越しください。なお、市のホームページ(YouTube)でも本会議を中継します。また、市役所本庁舎(1階ロビー・4階議場前)に設置のモニターでも本会議の視聴が可能です(リアルタイムのみ)。

※傍聴にあたり、託児を希望の方は開催日の2週間前まで、手話通訳を希望の方は開催日の4週間前までに議会事務局へご相談ください。

※議会だよりに対するご意見やご感想は、下記までお寄せください。

TEL (079) 552-6855

FAX (079) 552-7104

E-mail

gikai_div@city.sasayama.hyogo.jp

丹波篠山市議会だより 第105号

令和5年4月21日発行

編集・発行

丹波篠山市議会広報特別委員会

原田豊彦・前田えり子・堀毛宏章

渡辺拓道・安井博幸・園田依子

〒669-2397 兵庫県丹波篠山市北新町41番地

TEL (079) 552-6855

丹波篠山市議会

検索

議会報告会を5月に開催

ご参加ください!

内 容：(第1部) 12月・3月定例会の報告

(第2部) 意見交換「担い手不足について」

開催時間：午後7時30分から (畑・味間・西紀北・大芋地区は7時から)

出席者：丹波篠山市議会議員 (3班構成、下記参照、◎は班の代表者)

1班：◎向井千尋、足立義則、荒木礼子、小島政行、栗山泰三、山田潔

2班：◎上田英樹、園田依子、森本富夫、堀毛宏章、齋藤泰博、原田豊彦

3班：◎大西基雄、渡辺拓道、安井博幸、隅田雅春、前田えり子、萩原正人

開催日	地区名	会 場	担当
5月12日(金)	畑	みたけ会館	1班
5月12日(金)	大芋	大芋公民館	3班
5月15日(月)	西紀北	しゃくなげ会館	2班
5月15日(月)	城南	城南コミュニティセンター	3班
5月19日(金)	雲部	雲部公民館	1班
5月19日(金)	城北	玉水会館	3班
5月24日(水)	古市	古市コミュニティ消防センター	2班
5月26日(金)	味間	四季の森生涯学習センター西館	1班
5月31日(水)	岡野	岡野文化会館	2班

まらなみ

今回から、新しく2社と継続2社のスポンサー様にご協力を頂くことになりました。広告には重要議決案件記事と同じくらい注目してください。また、その企業様の顧客層が、より本誌に親しんで頂くことも大きな目的です。(原田)

市民の寄附金をもとに設置された東日本大震災等復旧支援基金が、役割を果たして廃止されました。災害時に寄せられる義援金は、被災者を励まします。議員互助会からトルコに送った義援金が、被災者の一助になれば嬉しい。(前田)

3月19日は記念すべき日でした。秋祭りの鉾山が、何と110年振りに屋根の上に鉾を付け、無電柱化された河原町通りを巡行したからです。子どもの頃からこの祭りに育てられたという感覚が今、地域への想いとなっています。(堀毛)

今回の表紙絵のタイトルを日本語にすると、「歓喜の花々」か。一方、日本人は年末の第九(歓喜の歌)の大合唱が大好き。また、みんなで喜びを表現してきたのは村祭り。喜びでひとつのものを作りあげるまちでありたい。(渡辺)

2月に丹波篠山市長選挙が行われ、新規事業の無い骨格予算と言う事で、今回は一般質問をする機会がありませんでした。議員の一般質問は、市政全般についてであり、新規事業のみが対象ではないのですけどね。(安井)

4月1日から改正道路交通法が施工され、自転車のヘルメット着用が努力義務に。乗車中に事故に遭うと、非着用時の致死率は約3倍高くなると。「かっこ悪い」「面倒」との思いを捨て我が命を守るため、是非着用を。(園田)

広告

各種建築板金工事(屋根・外壁・雨樋) / 一般土木工事(基礎・埋立・造成)
内装工事(軽天・木工事、各種造作全般) / 解体工事(木造・鉄骨・RC解体)



馬場板金

建設業許可 / 兵庫県知事許可 第 752258 号
産業廃棄物収集運搬業 / 兵庫県知事許可 第 02808152412 号

TEL 079-557-0560

FAX 079-506-4535

〒669-2504 兵庫県丹波篠山市西野々28

広告

販売・車検・板金塗装・整備、車のことならすべておまかせ!

篠山オートセンター

軽トラック買取強化中

この広告を見たご連絡いただければ、買取時 買取額+3万円UP!

出張査定無料 詳しくは ☎0120-338-196

営業時間 9:30~18:30 〒669-2202 兵庫県丹波篠山市東吹830番地

定休日 火曜日 TEL(079)594-3490 FAX(079)594-3491

